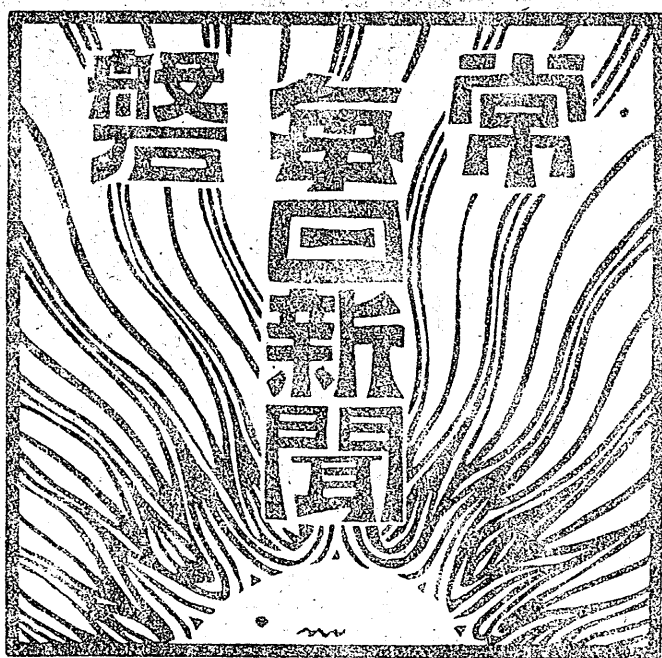


日刊 發行所 東京 川崎 文治 本社下町番地（電話六三〇番）



三月十三日夕刊

定部金貳錢 一ヶ月廿錢 三ヶ月五錢 半年十錢 一年二十錢 印刷費別取 郵税五厘 料五字一行 日刊 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常警毎日新聞社 電話六三〇番

事件を擴大するな 政界通人 南軍勢力を得て以來支那の時局は急轉し我等は非常なる危惧の念を以て見てゐた所であるが南軍は外人の生命財産はこれを絶対保障すると云ふのであつたので我等はそれを信頼して居た然るに今回南軍が一路上海を乗取るに際し南京に於て我居留民始め各國居留民に對して暴行掠奪沈有る迫害を敢てなしたといふことは到底我等の黙許し能はざる所である然れども情報によれば組織的に行はれたもので

なくいつもある例の一部暴動兵の所爲といふことであるから外交的に嚴重に抗議を申込み相當なる謝罪處罰を要求し斯くの如き事の再び起らざる様且又各地に傳播せざるやうにせねばならぬ去り乍ら今茲に各國が出兵せるからと云つて直に我國も兵を送つて取鎮め或は防備をなすと云ふことは餘程慎重に考慮せねばならぬことであつて徒らに輕舉妄動することは事件を益々擴大し支那全土の排外的氣勢を煽るのみである英米が多數の兵を送ると云ふことは第一に地理的關係からして一旦緩急ある場合に如何

ともする能はざるからであると思ふが我國は一番接近して居るから萬一の場合にもそれに當ることが極めて容易である故に今回の如き事を以て兵を云々と云ふことは餘りに眼先の見えぬ事であると思ふ若し我國で兵を送れば列國は種々なる關係からしてその倍數送るは必定で斯くては或は第二の北清事變の如き不祥事も惹起せざるを以て出來得るだけ今まで持し來りたる不干渉主義を以て臨むことも一策であると思ふ



學生鞄卸賣 此際壹個ニテモ御直ニテ差上マス 玩具、文具、糸類 森下商店 屋號まめ屋 平町一丁目 電話二三三番

好評噴々たる エスリ印人參サフラン葡萄酒と 美味ポルトワインは 目下特賣中賣切れぬ内是非御試用を 特約店 山野邊藥局 平町五丁目角 原齒科醫院 平町土橋通り電話三一三番 第二病室 増設 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥劑師 佐竹菊雄 平町田町 電話五二三番

人氣の焦點!! 時計は... クローム 懐中用 腕用 流行唄は... 小原節 平町四丁目 會田時計店 電話三六三番 前途有望の 同職業志望者入用 久月總本店特製 雜人形 大賣出し 雜道具 平町三丁目 金太郎玩具店

大衆映畫史上の輝光ある神篇 市川右太衛門熱と力の大力演 世界的名聲を恣にせる日本映畫界の誇 右太衛門出て平都の人氣沸騰す。 影法師捕物帳 品作特ノヨシクダロブノキマ 開公部全卷五拾全 時一十一テ生學 館開時六日平 日壹月四 帝キマ 座聲有 營直 電話六四四

株式百澤商店 第一營業報告 自大正十五年四月一日 至昭和二年二月廿八日 貸借對照表 資產ノ部 未拂込資本金 五〇,〇〇〇,〇〇〇 商品 勘定 二九,〇〇〇,〇〇〇 受取手形 二六,〇〇〇,〇〇〇 預金及現金 二六,〇〇〇,〇〇〇 諸貸金勘定 二五,〇〇〇,〇〇〇 假拂金勘定 三五,〇〇〇,〇〇〇 土地建物什器 八五,〇〇〇,〇〇〇 有價證券 一九,〇〇〇,〇〇〇 未収入金勘定 一五,〇〇〇,〇〇〇 創業費 一七,〇〇〇,〇〇〇 合計 二八,〇〇〇,〇〇〇 負債ノ部 資本 金 一〇〇,〇〇〇,〇〇〇 假受金勘定 一八,〇〇〇,〇〇〇 仕入先勘定 三,〇〇〇,〇〇〇 未拂金勘定 三三,〇〇〇,〇〇〇 當期純益金 四,〇〇〇,〇〇〇 合計 二六,〇〇〇,〇〇〇 利益金勘定 二六,〇〇〇,〇〇〇 一金四千六百參拾四圓拾八錢也 當期純益金 之ヲ處分スルコト左ノ如シ 金貳百五拾圓也 法定積立金 金壹千壹百參拾五圓也 諸積立金 金壹百五圓也 役員賞與金 金貳千七百五拾圓也 配當金(年六末) 金參百九拾四圓拾八錢也 後期繰越金 右ノ通りニ相違無之候也 昭和二年二月 株式百澤商店 取締役社長 百澤 易興 取締役 百澤 才八郎 全 殿 木 豊次 監査役 阿部 政右衛門 全 殿 木 松造

父母を失ひ……泣き喚く子や

途方に暮れる老人達

地下の犠牲者百三十六名中には種類々な悲劇哀話が数多く遺されてゐる、惨死者中には夫婦揃つて斃れ数名のいたいな子女のみが残された一家もあり、一家三人の男が惨死し、残されたばかりが屍体に縋つて泣きわめいてゐる一家もある

支柱夫 按厚清と妻の後山夫梅原は夫婦共に二人の男の子を残され、兩親を前に只泣いてゐる

支柱夫 梅原作太郎妻は、もまた夫婦共ボン座附近で遭難したが一家は六ツと五ツの男児一名と老

磐炭慘事を聞召され

御救恤金一 千圓御下賜

磐城炭坑爆発火災を起し百三十餘名の死者を出したる旨聞召され、天皇、皇后兩陛下には御救恤として金一千圓下賜の御沙汰あり二十九日福島縣知事川淵治馬氏に傳達した(東京)

ひ先き短い六十の坂を越した作太郎の實母ときのみで働き手を失つた三名は屍體を前に悲嘆の涙に暮れてゐる

黒煙渦巻く坑底に

残るは二個の屍体

決死隊の健闘に依つて

磐城炭坑爆発死者の搬出に就いては決死隊が晝夜兼行にて毒瓦斯と闘つ、坑内に突入し酸素吸入器やマスクを使用し坑内の搜索に努力し引續き死体を運び黒煙渦巻く坑底に残るは僅か二個となつたが收容屍体は昨日午後三時から同村町田瑞寶寺火葬場に於て順次火葬に附し香煙縷々として立ち昇り悲愁極まりなき光景を描いて居る

加入十一名

全額を支拂ふ

磐城炭坑の慘害につき仙臺逓信局保険課では直に菊地書記を派遣して加入者を調査させた結果百三十餘名の犠牲者中十一名が保険加入者であり本省に報告して保



家庭欄

肩のこつて苦しい時はミミズを捕へて、胴中の土を出し、それを黒砂糖にとかし、き紙にのびし、肩のこ

平町長慰問

昨日磐炭へ

二十九日午前十時より平町つたところへ貼つておきますと、奇妙にこりがされて

子供が柱や縁に打ちつけて額や頭にこぶをこしらへました時は、早速白砂糖をよく、齒でかみつぶし、唾液でやはらかにすつて、こぶのところにそつと塗りつけます

同情集もある

義捐金を募り 慰問に出張す

磐炭の慘事に對しては平町民舉つて同情の念禁する能はず田町にては区内の有志が各戸を歴訪して義捐金の調達に奔走し二丁目の如きは山崎區長及び坂田藤助、關内庄一の諸氏が同區を代表し本日同區より義捐金を持參して慰問に出張し其他各區に於て夫々義捐金募集の計劃があるらしい

湊團員的美舉

平町才地小路湊七郎君は今回北目町に移轉する事になつたので才地小路青年團に金十圓を寄附したさうであるが青年團員的美舉として推奨されて居る

塗料講習終了

既報平町木工組合主催塗料講習會は講師青山盛之助、松本太佐兩氏指導中の處本日終了を告げた

打撲傷には、打撲傷又は打ち傷には、せうをそのまゝ生ですりつせうをして、それに黒砂糖を適宜に加へ煉り合せて美濃紙のべて貼るのでありますすると全く驚くほど早く痛みも熱もとれてしまひます

平商合格者

成績順發表

平商業學校本年度入學試験合格者氏名左記の如くである

- 一 虫本康雄、二 阿部康藏
- 三 若林鉄之、四 木下正衛
- 五 鈴木政一、六 谷口秀雄
- 七 黒澤英治、八 渡邊正治
- 九 馬上榮、一〇 關原三郎
- 一一 蛭田茂、一二 福田宗
- 一三 古山秀吉、一四 植村弘恕、一五 辨野富一
- 一六 長瀬建一、一七 五味淵秀雄、一八 新妻信清
- 一九 坂本博太郎、二〇 上野寅吉、二一 高野巖、二二 高田功、二三 榎石勇藏
- 二四 大島進、二五 會田邦男、二六 菊田勝巳、二七 大平甲祐、二八 牛久守弘
- 二九 根内武久、三〇 齋藤

上原氏歸京

琴曲の大家

上田流琴曲の大家として全國的に名の有る上原眞佐喜氏は震災以來平町舊城跡に仔寓中であつたが此程愈々歸京する事となり本日午前十時五分平驛發上り列車にて出發驛頭には門弟其他多數の見送りがあつた因に歸京を機とし平町の門弟にして同氏より名前を授けられたるは左記の如くである

- 古鍛冶町山崎喜壽、才地小路新田目眞都壽、南町酒井眞須壽、胡摩澤松本佐喜世、田町遠藤佐喜野、材木町鈴木佐喜勇、田町田中佐喜秀、五丁目

募集

文藝其他投稿を募集します

- 第一號 當會社が植田水力電氣株式會社と合併したるに付解散の件
- 第二號 清算人選任の件
- 第三號 前項一切に伴ふ二の事項